

# Newsletter

2018.10 No.38

後学期図書館セミナー2018

すべて参加無料!

専門の講師による  
データベースの  
利用説明会です♪

- ・【就活・インターンシップ スタートダッシュ!  
企業研究のコツ】

「静岡新聞データベース plus 日経テレコン」

静岡 12/20(木) 12:45~14:15 浜松 12/19(水) 14:25~15:55

★就活に!

- ・【英語論文の探し方と文献管理ツール】

「Web of Science」 「EndNote Basic」

静岡 11/8(木) 12:45~14:15 浜松 11/14(水) 14:25~15:55

- ・【ACS(アメリカ化学会)の電子ジャーナル検索】

「American Chemical Society」

浜松 11/22(木) 12:45~14:15

- ・【学術雑誌に投稿する人のための英語論文の書き方  
(How to Get Published in a Scientific Journal)】

「エルゼビア・ジャパン」 ※静岡キャンパスは英語での開講

静岡 11/1(木) 10:20~11:50 浜松 11/29(木) 12:45~14:15

This seminar will be held in English.(Shizuoka only)

- ・【30分でわかる! 日本語論文の探し方】

「CiNii Articles」 講師: 図書館職員

静岡 11/6(火) 11/7(水) 12:00~12:30 ※会場: 図書館 4F ギャラリー

※両日とも同じ内容です

★レポート  
論文作成に!

- ・【化学物質・有機化学反応情報の検索セミナー】

「SciFinder」

静岡 12/6(木) 12:45~15:55 浜松 12/5(水) 14:25~15:55

★専門分野の理解に役立つ!

QRコードから  
申込みできます!

会場: 【静岡】 図書館 6F セミナールーム 【浜松】 S-Port 2F セミナールーム・CALL 教室

お申込み: 【静岡】 【浜松】 <http://www.lib.shizuoka.ac.jp/riyo/?seminar>

お問合せ: 【静岡】 レファレンスカウンター(E-mail:lib-refer@adb.shizuoka.ac.jp)

【浜松】 カウンター(E-mail:lib-hama@adb.shizuoka.ac.jp)



オープンサイエンスに対して高まる国際的な気運を受けて、課題はあるものの、今後日本国内においても、学術情報の流通や提供が大きく変わる可能性があります。国立情報学研究所では2020年の本格運用をめざし、機関リポジトリを活用した研究データの管理・公開・検索を促進するシステムの開発が進んでいます。静岡大学でもオープンサイエンスや研究データの取扱い等について検討を進める時期にきています。東京オリンピック開催の年である2020年は、学術情報流通の変容にも注目していきましょう。

## オープンアクセス



### オープンアクセス (OA) とは

学術論文や学術雑誌の掲載記事が、インターネットを通じて誰でも自由に閲覧できることをいいます。1



### OAは2種類ある

#### 1.グリーンロード ⇒ グリーンOA

—著者自身がインターネット上で公表(セルフ・アーカイブ) —  
著者自身のホームページ、機関リポジトリ、分野別のアーカイブ/プレプリントサーバ(arXiv(アーカイブなど))、政府系助成機関アーカイブ(PMCなど)

#### 2.ゴールドロード ⇒ ゴールドOA

—雑誌自体を無料でアクセスできるようにすること(OAジャーナル)、そこに論文を発表すること。

購読料以外の手段で出版費用(APCなど)をまかなう



### 機関リポジトリ

グリーンOAの代表的なものは、機関リポジトリです。本学でも、静岡大学学術リポジトリ<SURE>を持ち、主に本学に所属する教職員が執筆した論文等を登録しています。

2013年に文部科学省が実施した学位規則改正により、2013年4月以降に授与した学位にかかる論文、論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨の公表が義務づけられました。学位論文も機関リポジトリに登録しています。

#### 参考文献

1. デジタル大辞泉, JapanKnowledge, <https://japanknowledge.com>, (参照 2018-08-09)
2. 池内有為, オープンサイエンスの展望: 公開データの活用事例と課題解決に向けた取り組み, 薬学図書館, 2017, 62, 4, p. 211-217.
3. 佐藤翔, 学術情報流通と図書館: オープンアクセスからオープンサイエンスへ, 図書館界, 2018, 70, 1, p. 245-264.



### 静岡大学の現在

静岡大学学術リポジトリに登録された文献は、2018年8月現在で、1万件をこえました。登録件数がかつとも多いのは、学内研究紀要論文でリポジトリ登録の半数を占めています。それ以外に雑誌論文、研究報告、学位論文でリポジトリ全体の8割が構成されています。2008年1月より統計を開始したダウンロード数は、累計約500万件となり、多くの方々にリポジトリに登録された文献をご利用いただいています。

静岡大学学術リポジトリ<SURE>

<https://shizuoka.repo.nii.ac.jp/>

## オープンサイエンス



### オープンサイエンスとは

インターネットなどを通じて誰でも共有・利用できるよう、各種研究データを一般に公開し、科学研究の効率化を図るといった動き。2011年に理論物理学者マイケル=ニールセンが提唱。1

「第五期科学技術基本計画(内閣府)」のなかで、オープンサイエンスとは、オープンアクセスと研究データのオープン(オープンデータ)を含む概念である。オープンアクセスが進むことにより、学界、産業界、市民等あらゆるユーザーが研究成果を広く利用可能となり、その結果、研究者の所属機関、専門分野、国境を越えた新たな協働による知の創出を加速し、新たな価値を生み出していくことが可能となる、とあります。



### 日本の政策

「第五期科学技術基本計画(内閣府)」のなかで、公的資金による研究成果については、その利活用を可能な限り拡大することを、我が国のオープンサイエンス推進の基本姿勢とする。その他の研究成果としての研究二次データについても、分野により研究データの保存と共有方法が異なることを念頭に置いた上で可能な範囲で公開する、とあります。また「総合イノベーション戦略(内閣府)」のなかでもオープンアクセスに関して記述されています。

「第五期科学技術基本計画(内閣府)」(2016年1月22日閣議決定)

<http://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/5honbun.pdf>

「総合イノベーション戦略(内閣府)」(2018年6月15日閣議決定)

[http://www8.cao.go.jp/cstp/tougosenryaku/tougo\\_honbun.pdf](http://www8.cao.go.jp/cstp/tougosenryaku/tougo_honbun.pdf)



### オープンサイエンスの実現により期待されること

1. 科学研究を効率的に進めること
2. 重複研究を防いで研究開発費を節減すること
3. 研究の透明性や再現性を高めて不正を防ぐこと
4. 研究成果(論文・研究データ)を長期保存すること

# Library Calendar

静大図書館 2018年10月～12月

## 静岡本館・浜松分館共通

10月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

11月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

12月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

	授業期	試験対応期	休業期
平日	9:00-22:00		9:00-17:00
休日	10:00-19:00	9:00-21:00	10:00-17:00
休館日			

12/28-1/4  
年末年始のため休館

### キャンパスフェスタ（静岡）とテクノフェスタ（浜松）でイベントを行います

<静岡> 「司書が案内する図書館の奥まで探検ツアー」

平成30年11月17日（土）、18日（日）

<浜松> 附属図書館学生モニター主催「しおりをつくろう！」

平成30年11月10日（土）、11日（日）

詳細は図書館ホームページでご確認ください

皆さまのご参加をお待ちしています♪



静大図書館 Newsletter No.38（2018年10月1日発行）

編集:静岡大学 学術情報部 図書館情報課 発行:静岡大学附属図書館

〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836 Tel.054-238-4477 Fax.054-238-5408

URL: <http://www.lib.shizuoka.ac.jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/shizuokaunivlib>

Twitter: @ShizuokaUnivLib

